昭和50年 9 月 1 日発行

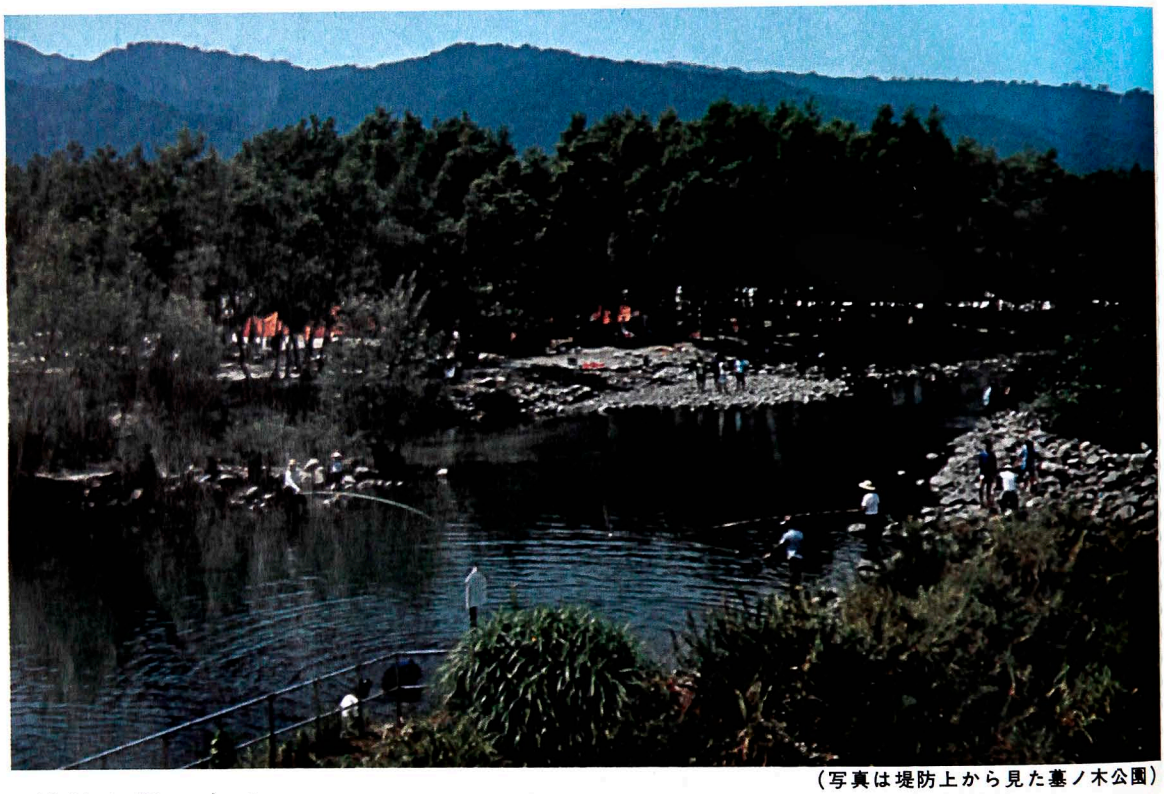
広報 にゅうぜん

No.213

発　行　富山県入善町
編集責任者　企画財政課長　寺林次信
印　刷　池原印刷所

人　口	28,688	(＋41)	28,616
男	13,563	(＋31)	13,467
女	15,125	(＋10)	15,149
世帯数	6,934	(＋ 3)	6,885
		(　) 内は前月比	前年同月

8 月 1 日現在住民登録



（写真は堤防上から見た墓ノ木公園）

清流と緑の中で

キャンプも楽しめます

自然美の墓ノ木公園

○……「きれいな水と豊かな緑の中に、自然の美しさを心ゆくまで味わっていただこう」と、河川敷を利用した墓ノ木公園の一部を、キャンプができるように整備したところ、「入善町にこんな良い所があるとは知らなかった」と、利用者の評判はなかなかのようだ。

○……今度整備したのは約２３００㎡の柳林で、イバラや雑草を下刈りして砂をまき、井戸、かまど、桟橋、便所、花壇などを設置したもので、キャンプ場は林立する柳に藤が巻きついて木陰を増し、清流が木立を縫う様に、地元民ですらしばし見とれてしまう。

○……例年、この清流では超大型アユが毛針で楽しめるが、先日、内水面漁協が多数のヤマメを放流しており、来年の夏のキャンプには、食膳を賑わせてくれるだろう。また、取付道路と堤防との間の用水にかかる橋も、クミの色着く頃には完成し、墓ノ木地区からの車での乗入れが容易になる。

一度、家族連れで尋ねてみてはいかが。

【老人福祉特集】

9月15日は敬老の日

近く老人福祉電話も設置

九月十五日は敬老の日。多年にわたり社会につくしてきたおとしよりを敬愛し、長寿を祝う国民の祝日です。本町でも六十五歳以上のおとしよりが約四千三百人おられます。今月は老人福祉策を中心に特集してみました。

●入善町敬老保険年金―入善町が県下に先がけて行なった独自の年金制度で、本町に引き続き一年以上居住する八十歳以上の高齢者に対し、年額三千円を給付しています。現在の受給者は三百八十人。

●富山県敬老福祉年金―県でも毎年九月十五日現在において、次のいずれかに該当する者で、県内に引き続き一年以上居住するおとしよりに対して年金を給付しております。

(1)八十八歳以上　年間五千円
(2)八十～八十八歳で身体障害者及び生活困窮者　年間三千円

●老人家庭奉仕員―身体又は精神上の障害があって、日常生活を営むのに支障のある六十五歳以上の低所得者の家庭へ、次の三人の奉仕員が日常生活のお世話をしに伺います。現在二十一世帯を訪問しています。

坂東　信子　（入　膳）
杉原　陽子　（上　野）
中易佐喜子　（浦山新）

●老人クラブ―老後の生活を健全で豊かなものにし、老人の福祉増進に資するため、クラブ活動の推進に力をいれています。町には四十七の老人クラブがあって、教養の向上、健康の増進及び社会奉仕活動など、広い範囲の活動を行なっており、一クラブ年間五万一千六百円の補助金を交付しています。

●老人福祉電話―一人暮らしの所得の低い老人家庭へ、無料で電話を設置しますが、今年は朝日新聞社の協力で、近く六台の電話を取りつけます。

元気でカレイ漁に励む
倉田作次さん夫婦（芦崎）

こんにちは　あなたが主役です

まだ暗いうちから、白波立つ海へカレイの刺網漁に出る、仲むつまじい倉田作次さん(70歳)ちかさん(68歳)夫婦を入善漁港にたずねていろいろ伺いました。

・お早ようございます。漁はどうでした。

○いや全然だめです。網八枚あげたのにカレイがたったの五、六枚です。

・今朝も早かったのでしょう。

○二時に出たんですよ。

・この船でですね。何トンですか

○二十四馬力の三トン百です。

・いくらぐらいするものですか。

○設備いっさいを含めて四百万円ぐらいだったんです。

・じゃ今ですと六百万円ぐらい…

○とんでもない、八百万円から九百万円かかるそうです。まあ、オッチャンの家一つですちゃ。

・おばあちゃんもいっしょに海に出られるのですね。

○網を始めたころからずっと乗っているんです。十三年にもなりますが、そのころは孫をおぶって頭からしぶきをかぶっていたもんですが、船には酔わんし、私より強いがです。

・若いころはマス場へ行っておられたのですか。

○冷蔵船など、私は船乗りばかり（漁師でない）だったのです。マグロをとりにいったこともありますが、会社でしたので停年でやめ、こういう網をやったのです。若いころは土方もしました。下山の排水路の堀さくは固くてひどかったもんです(笑い)

・大変元気そうですが晩酌はやられるんでしょう。

○毎晩銚子一本ぐらいです。昔は酒はいくらのんでも酔わなかったのですけど。

・この仕事、いつまでも続けられますか。

○船に乗られんがなるまで続けます。もっとも父ちゃん（息子）の手伝いですけど。（笑い）

入善町長寿者番付表

昭和50年8月1日現在

東					西				
位置	氏名		年齢	住所	位置	氏名		年齢	住所
横綱	草島	よき	97	上野	横綱	杉原与次郎		96	目川
大関	木原	なつ	94	芦崎	大関	金田	ちよ	94	上野沢
関脇	西川	のび	93	青木	関脇	滝本	よ志	93	蛇荒又
小結	秋田	志げ	92	舟見	小結	田又	つる	92	荒山
2	道又	とせ	92	神子沢	2	金山	いと	92	横山島
3	池田	みよ	92	吉原	3	室	れゑ	92	君板屋
4	長谷亀次郎		92	浦山新	4	南保	すず	92	板椚山
5	小森	やい	92	舟見	5	谷口	とき	92	椚道市
6	井田	さと	92	芦崎	6	中沢	ふて	91	道中屋
7	上田	つな	91	入膳	7	大面	きよ	91	野板
8	高畠	たみ	91	舟見	8	島田	いと	91	板野
9	塚田	すず	91	下飯野	9	松田	みて	91	上原
10	藤田米次郎		91	春日	10	竹島	ひな	90	笹崎
11	松田	つな	90	上野	11	山田	ちよ	90	芦崎
12	吉塚	すみ	90	浦山新	12	岡田	きゆ	90	芦崎
13	永井吉三郎		90	一宿	13	長島	やい	90	椚山
14	梨木	ちい	90	舟見	14	島尻	そよ	90	道古
15	吉田耕次郎		90	椚山	15	米田	よし	90	横山膳
16	川畠栄次郎		90	青島	16	広野	ミス	89	入狐
17	島倉	よき	89	芦崎	17	中坪石次郎		89	東宿
18	大田	ふて	89	椚山新	18	永井	きよ	89	一

一日一〇〇円で

湯につかってのんびり

老人いこいの家

木根出身の木本幸与作さん（東京）からの一千万円の寄付金を基金として、昭和四十六年に建設した老人いこいの家は、年々利用者がふえています。

次の表は四十九年度中の利用状況ですが、遠距離にある舟見、野中地区の利用が少なく、近距離の入善、上原地区のおとしよりの利用回数の多いのが目立ちます。

老人いこいの家は、六十歳以上の人なら一日百円で利用できますが、舟見～入善間のバス代が片道百八十円もすることから、どうしても利用が減るようで、「若い方に気兼ねされるんでしょう」とは、いこいの家の職員の話しです。

・**老人いこいの家利用時間**
午前九時～午後六時
毎週火曜日は定休日

三人の職員が皆さんのお世話をしております。せいぜいご利用下さい。

区分 / 地区	利用者数 平日	祭日	計	老人1人当り年間利用回数
入善	2,122	1,160	3,282	6.55
上原	1,833	890	2,723	7.71
青木	1,236	285	1,521	6.88
飯野	630	255	885	1.60
小摺戸	580	290	870	3.55
新屋	435	198	633	2.39
椚山	788	312	1,100	5.39
横山	549	374	923	4.27
舟見	19	6	25	0.12
野中	30	3	33	0.28
計	8,222	3,773	11,995	4.21

老人いこいの家年度別利用状況

年度	開館日数	利用数	1日平均
46	94	2,013	21.4
47	292	6,801	23.2
48	293	10,008	34.2
49	294	13,835	47.1
※46年度は12月1日から一般開放			

県内の老人福祉施設

▽百楽荘　上新川郡大沢野町
Tel　〇七六四六―七―一九六一
▽千歳荘　上新川郡大沢野町
Tel　〇七六四〇八―有線
▽春日荘　上新川郡大沢野町
Tel　〇七六四六―七―〇六五七
▽舟戸荘　東砺波郡庄川町
Tel　〇七六三八―二―三五一六
▽百楽荘　高岡市
Tel　〇七六六―二三―七二一三
▽寿泉閣　滑川市
Tel　〇七六四―七五―三五一一
▽寿永荘　小矢部市
Tel　〇七六六―六七―四五五〇
▽福寿荘　西砺波郡福光町
Tel　〇七六三二―五―一〇〇八
▽新川荘　下新川郡宇奈月町
Tel　〇七六五六―二―一一三九

※利用申込みは各施設へどうぞ

わたしのおじいちゃん

小摺戸小学校三年　**若島秀美**

わたしのおじいちゃんの名は、すけようもんという、まるでおさむらいみたいな名前です。

わたしはときどき、かぞくのむかしのしゃしんを見ると、だれがこんなりっぱな名まえをつけたんだろうと思いますが、聞いたことがありません。

大きな赤ら顔に「八の字」のひげが、ちゃんとおすわりをしています。そのひげにちょっぴりしらげもまじって、ごはんをたべるときと話しをするとき、ぴょこんぴょこんとうごくのです。

頭がぼうずで、ぜんぶもうしらがになり、「おじいちゃん、いくつになったの。」ときくと、「七十五才じゃ、ひょっとしたら百までも生きるぞ。」といって、毎日夜におさけをのんでごきげんがいいです。わたしにまけんくらい元気なので「まだまだながもちできるぞ。」と思っています。

おじいちゃんは、おさけが一番すきです。「一日のうちで、夜おさけがのめるのが楽しみで、しごとができるわい。」といって、田んぼのこやしをまいたり畑しごとをしたり、いっしょうけんめいはたらきます。

この前も、よそのうちでのんできてゆに入るとき、じぶんのしてるふんどしでからだをあらっていたので、「おじいちゃん、ふんどしでからだをあらっちゃだめよ。へんやなん。」といってやりました。するとおじいちゃんは、「そうだったな、ハ、ハ、ハ。」といって、ようきに、なにやら大きな声で歌をうたって、てれくさそうです。

それからもう一つ、すきなものはプロレスを見ることです。きまって土曜日になると、はじまる前からトイレにいって、テレビの前で待ってるおじいちゃんです。わたしたちは、そのときだけは何があっても見せてあげます。力こぶを入れていっしょうけんめい、おもしろそうに見ています。わたしがこわがると、「どきょうのでっかい子にならんとだめだぞ。今の子はよわ虫じゃ。」といいながらわたしにみせようとします。

おじいちゃんの口ぐせは、「しょうじきに生きる。」ことだといいます。わたしも、おじいちゃんのように、しょうじきに生きたいと思います。

どうかいつまでも元気で、百までも、百五十までもながいきしてもらいたいと思います。

講演と映画

入善町老人クラブ

敬老の日の集い

とき　**九月十五日　午後一時**
ところ　**武村福祉会館**

午前中は入善地区のあんま無料奉仕

第十五回町議会臨時会

野中保育所の工事請負契約を議決

第十五回入善町議会臨時会は、去る八月一日議場に召集され、一般会計補正予算や国民健康保険特別会計補正予算などを原案通り可決、野中保育所改築工事の請負契約も議決しました。以下主な審議内容です。

▽可決した主な議案

・一般会計補正予算（第一号）―七千二百六十七万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ二十六億五千三百六十七万四千円としました。

歳入の主なものは地方交付税で五千九百四十万円の減。繰入金の四千八百三十四万円、繰越金の三千六百七十二万二千円、町債の二千三百二十万円、県支出金の二千二十万九千円の増などです。

歳出の主なものは、うまい米づくり村設置や施設園芸育成事業などの補助金で二百六十五万円、道路新設改良費で二千万円用途地域内のほ場整備工事に四百八十万円、河川敷公園の整備に四百十万円、小学校の修繕料で八百万円、護岸堤、離岸堤、漁港などの災害復旧工事費二千三百四十七万円などとなっています。

・国民健康保険特別会計補正予算（第一号）―三百十八万四千円を追加しましたが、歳入では国からの助産費補助金五十万円、前年度からの繰越金の二百六十六万円などが主で、歳出は、助産費や育児手当金などの給付金として百五十四万五千円、リハ訓練器具購入の三十八万円が目立ち、予備費として九十五万九千円みております。

・分譲宅地特別会計補正予算（第一号）―一千五百十七万六千円を追加、うち一千三百六十万円を工事請負費にあてます。

・工事請負契約―野中保育所改築工事は指名競争入札の結果、二千九百五十万円で株式会社中山組が落札したので、契約を結ぶものです。工期は五十一年一月三十一日です。

10月1日は 国勢調査

今年の十月一日には、全国一斉に「国勢調査」が実施されます。

この調査は、国の最も基本的な統計調査で、国内に住んでいるすべての人を対象として人口、世帯数、年齢別人口構成、並びに教育労働、住宅等の現状を明らかにして、住みよい町づくりの基本資料とするものです。したがって、町収入の最も比重の大きい地方交付税の配分や議員定数なども、この国勢調査による人口が基礎になっているわけです。

調査表は折らずよごさず エンピツで記入を

今回の調査の結果を早く出すために、最新式の電子計算機が使用されますので、調査表（九月二十四日頃配布）は必ずエンピツで記入し、折ったりよごしたりしないよう注意して下さい。また、調査員がいつ集めにきても提出できるよう説明書をよく読んで、十月一日には忘れず記入しましょう。

富山県の人口

45年	1,029,695人
49年	1,064,139人

入善町の人口

45年	27,638人
46年	27,701人
47年	27,761人
48年	27,762人
49年	28,098人

各年10月1日現在
46～49年は人口統計調査

国勢調査調査員

〈入善地区〉

松倉　玉枝　道用多津子　明官　一郎
保要　トク　後藤　正義　松倉　義雄
米沢　繁男　木本由利子　永山　良子
吉島　貞子　平崎　政光　竹内　泰男
尾崎　嘉六　上田　卓治　福島　忠
森　栄　松田　清子　長谷川邦夫
上島　隆治　広田　良子　柴垣　勝昭
上田　元司　池原　貴子　竹内　正義
五十里秀時　田中　修　室　正吉
大角美恵子　浜田　洋次　上野　高義
大角　正之　上田　一次　林　富男

〈上原地区〉

大沼　貞二　西尾　三郎　上島　和子
金沢　好夫　石塚　兼治　野沢与次郎
松田　三郎　永田　忠志　目沢　竹松
山田　富栄　宝田　実　市岡　幸治
宝泉　豊子　上原　武男

〈青木地区〉

川原　敏光　松田　一光　今井　秀松
木本　隆信　山崎　芳雄　中塚　忠光
西川　正雄　高沢　源作　橋場　政治

〈飯野地区〉

川田　正一　米島　行光　高見　公士
野坂　和敬　鍵田　久信　名取川順子
島先　源次　飯田　幸子　上野加津江
上島　邦夫　島田　栄松　笹島　春人
伊野太美蔵　沼田　俊雄　塚田　与次
志摩　明雄　倉田　勝義　上田　新治
西島　善一　岡島ひとみ　西島　忠雄
囲　功　滝本　浩

〈小摺戸地区〉

松岡　文雄　松井　明　松島　竹志
城崎　久義　永井　克生　寺林　寿作
小路　隆　小林　恵

〈新屋地区〉

稲村　栄勝　鍋島　利直　中山　博義
鬼原　隆志　鬼原　征彦　藤田　政也
寺崎　信子　米田　初一　高源　順子
米山　六博

〈椚山地区〉

川城　彦三　飛田　攻　扇原　勝郎
上田　正明　中川　久義　吉田　巌
高見　仙松　青木　清松

〈横山地区〉

山崎　伸一　金沢　俊幸　吉原　準一
高見　武　松永　千鶴　板倉　穂悦
尾山　清松　寺西　英明　尾山　貞子
杉本多美子

〈舟見地区〉

小森九仁夫　西島　教子　菅洞　和平
小林　幸夫　川内　義尊　朝倉　とき
西尾　ユキ　魚津　隆久　小森　勇峥

〈野中地区〉

冨山　仁一　中島　博之　窪野　周蔵
大割　愛義　金山　正芳　百石　山治

人口予想 懸賞募集

50年国勢調査による入善町の人口は？

▼応募資格　入善町に在住する者

▼応募方法　はがきに「入善町の人口予想解答」と書き、答、住所、氏名、職業、年齢を書く。一人一枚に限る。

▼あて先　入善町役場住民課住民係

▼締め切り　十月一日（当日の消印あるもの有効）

▼発表　十二月号広報紙上

▼賞品　金賞　一万円程度の品物
銀賞　七千円　〃
銅賞　五千円　〃
（各一名）

▼ヒント　前記の統計資料を参照して下さい。

なお、県でもほぼ同じ要領で富山県の人口予想懸賞募集をしております。あて先は富山市新総曲輪一ノ七富山県統計調査課です。

母親教室で

自信ある育児を

赤ちゃんのちょっとしたことでも病院へ連れていったり、保健婦に相談する母親がふえています。

そこで町では、初めての妊娠でも生まれてすぐ母乳で自信に満ちた育児ができるように毎月母親教室を開いています。

しかし働いている妊婦のなかには、会社が忙しいから休めない、毎月病院で診察を受けている、本を読んでいるからわかっているなどという理由で、一度も母親教室にこない人もあり、子供は育てるものという大切な心が失われてきているようです。

健やかな子を生み育てるには、子供が生まれてから母親としての勉強を始めてもすでに遅すぎるのです。よい子に育てるために、半日の母親教室で、専門の医師や保健婦の指導を受けましょう。

母親教室は三コースで三ケ月で終了となりますが、どのコースにも実習、講義をいれており、毎月安産体操も行なっています。

グループ紹介③ 空手道錬成会

四十六年四月に結成。当時は小中学生から一般までと幅広いクラブであったが、厳しい練習についていけない小中学生が脱落。現在の「ふるい」に残った三十五人は高校生と一般の人達である。

リーダーは佐田茂さん（三段）で、基礎からみっちり教えこんだというだけあって、会員の腕の上達も著しく、空手の「か」の字も知らなかった高校生が、今年の富山県高校空手道選手権大会では個人戦で二位、団体戦では見事優勝し、一人が全国大会参加という素晴らしい成績を残した。

練習は毎週二回（火、金）錬成館で行なっているが、どの会員も腕立伏せ百回、腹筋運動二百回を楽にこなしており、内臓が丈夫になったとのこと。「礼儀を正しくすることを重んじて指導しています。」と語る佐田さんの言葉のように、全員が礼儀正しいのがこのクラブの特長である。なお、錬成会では新入会員を募集している。会費は学生が月三百円、一般が五百円。

農業者年金に加入を!!

あなたの加入期限がせまっていませんか。七月末日現在における任意加入者の加入期限は、

(1) 大正九年～昭和十年の各年の八月以降に生まれた者は、今年のそれぞれ生まれた月の末日まで

(2) 昭和十一年生まれの者は、昭和五十一年のそれぞれの生まれた月の末日まで

(3) 昭和十二年以降に生まれた者は、一年づつずれることになります。

なお、当然加入者の加入期限は上の表のようになります。くわしいことは農政課へ問い合せ下さい

当然加入資格者の年金受給権に結びつく加入期限（7月末日現在）

生年月日	大正5年生まれ	大正6年生まれ	大正7年生まれ	大正8年生まれ	大正9年～昭和10年生まれ
1月生まれ 2 〃 3 〃	昭和50年 4月末	昭和50年 4月末	昭和50年 4月末	昭和51年 4月末	昭和52年 4月末
4 〃 5 〃 6 〃	昭和50年 7月末	昭和50年 7月末	昭和50年 7月末	昭和51年 7月末	昭和52年 7月末
7 〃 8 〃 9 〃	昭和50年 10月末	昭和50年 10月末	昭和50年 10月末	昭和51年 10月末	昭和52年 10月末
10 〃 11 〃 12 〃	昭和50年 12月末	昭和50年 12月末	昭和51年 1月末	昭和52年 1月末	昭和53年 1月末

（注） この表は、資格取得年月日が昭和46年1月1日である者についての期限である。
昭和11年生まれ以降の者については、1年づつずれることになります。

★★★★★★★★

台風に備えましょう

●台風に備え、テレビアンテナや看板などが倒れないよう固定しましょう。

●電線近くの木の枝は、営業所に連絡し伐採しましょう。

●電線が切れてたれ下がっているときは絶対にさわらないで、すぐ営業所へお知らせ下さい。

（北電入善営業所 電話七二局〇三二一番）

★★★★★★★★

九月の不燃焼物収集日

地区名	収集日
入善	4日 18日
上原	9日 23日
青木	5日 19日
飯野（鉄道上）	3日 17日
飯野（鉄道下）	10日
小摺戸	8日 22日
新屋	1日
椚山	12日 26日
横山	11日 25日
舟見	2日 16日
野中	12日 26日

県青年中級リーダー研修に参加して

小摺戸青年団　若島栄人

私たち一行八十二名は、七月二十一日の白山二号に乗り込み、いったん東京に出てから苫小牧行きの日本沿海フェリー（八千トン）に乗船し、北海道へ向いました。

本州は非常に良い天候だったのに、北海道の第一歩はあいにく小雨模様のぐずついた天候でした。北海道での最初の目的地、「国立大雪青年の家」へと向いました。ここは、前方に雄大な十勝岳をながめる非常に空気の澄んだ北海道ならではの場所でした。この青年の家で特に印象に残ったのは、礼儀作法のきびしさ、整理整頓、これは徹底していました。同じ青年の家へ研修に来ている他のグループと廊下などで会った場合は、必ず声を出して挨拶をかわすこと、それにベッドで使った毛布やシーツはきちんと折って積み重ねることなど、非常にきびしいしつけを二日間の研修所の生活を通じて教わって来ました。それにもう一つ印象に残ったのは、研修所を出る時の所長さんの挨拶の中に「今世界で一番きらわれている国は日本である」という非常にショッキングなことばでした。それはどういう面かといいますと、先日もありましたが、赤軍派などの過激派による各国大使館や空港の爆破、飛行機乗っ取りなど国内、国外を通じて日本の青年は何をするか分らない。それに企業にしても、後進国への過剰進出、商社の悪徳商法など例を取って見れば、なるほどとうなずけることばかりでした。これは、ほんの一部の人達の仕業ではありますが、これからの日本を背負う我々青年の手でこれらの汚名を挽回して、以前のような、世界中から愛される日本にして行きたいと、つくづく思いました。

次に訪れたのは、札幌市の郊外にあります恵庭市。この恵庭市というのは、先祖の多くは富山県人で、明治時代に開拓民として北海道に渡り、荒野を開拓して現在の恵庭市を築き上げたということで私たち富山県人を、市をあげて非常に暖かく歓迎して戴きました。ここでは、一人か二人づつに分かれて農家に二日間民宿いたしました。いろいろと話をお聞きしますと、とにかく農業規模の大きいのにまずびっくりしました。私が泊めていただいた横式さんというお宅では、水稲を十ヘクタール作っておられる専業農家でした。しかしここでも、富山と同様に機械化の波に押されて農機具代の返済などに追われ、耕作面積のわりに収益が上がらないということでした。また二日目の晩には地区青年団と本場のおいしいビールを酌み交わしながら、歌い踊り明かしました。このような恵庭市での大歓迎を、北海道での最後の思い出として私達一行は、小樽港から帰路新潟港へと向いました。

最後になりましたが、この研修で得たリーダーとしての役割や、今後の青年団活動の運営の仕方を各校下に持ち帰って、これからの活動に生かして行きたいと思っています。この研修を企画していただきました県教育委員会、並びに町当局に深く感謝いたします。

勤労青少年ホーム主催

好評だった立山登山（7月20日）

富山県自然保護専門委員の大田弘氏の説明をきく若人（みくりが池周辺で）

運動公園への桜苗木寄付者

▼木根西島部落　五本

ご芳志に感謝申し上げます

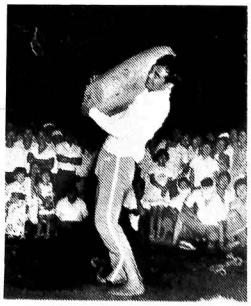
（入善町花と緑の銀行）

肩までは1人だけ

新屋の大磐まつり

恒例の大磐まつりは、去る7月24日新屋の住吉神社の境内で行なわれました。

105キロもあるみかげ石に、約30人の力自慢の青年が挑戦しましたが、どの青年もコツをつかめず、今年は肩までかつぎ上げたのが黒部市の砂田さん1人だけでした。



配本所がふえました

設置の希望は図書館へ

図書館では読書の秋を迎えて、いつでもどこでも本を読めるように、県立図書館の協力を得て配本所を倍増しました。

配本所には、児童図書や一般図書など約百冊の図書が置いてありますが、借りる場合には、貸し出しノートに図書名と氏名、借りた日を記入すればよいことになっています。どうぞ気軽にご利用下さい。

なお、配本所設置の希望がありましたら、図書館へ申込んで下さい。現在、配本所は次のところに設けてあります。

・勤労青少年ホーム・飯野漁業協同組合・島公民館・新屋公民館・舟見支所・雇用促進住宅・稲場信子宅（木根）・光明寺（吉原）

児童図書

新八犬伝（完結編）　石山　透
スポーツの夜明け　城丸章夫
好敵手　読売新聞社
ありがとう…どういたしまして　ストロボトキン
ピーターのいす　キーツ
ピーターのてがみ　キーツ
ゆきのひ　キーツ
創作ブックス全十二巻　ポプラ社
世界の名探偵物語全十四巻　岩崎書店
推理探偵傑作シリーズ全十五巻　あかね書房
世界名作えほん全二三巻　ポプラ社

シートベルト、ヘルメットは あなたの命をまもります

八月は、シートベルト、ヘルメット着用推進運動月間として警察でもその指導取締に力をいれてきましたが、まだまだ、ヘルメットを着用しないでオートバイを運転する人も見受けられます。

シートベルトを着けていたら死傷者の七割までも助かったといわれますし、オートバイに乗車中の死亡事故の過半数は、ヘルメットをかぶらないための頭部損傷によるものです。

自動車に乗ったらシートベルトを、オートバイに乗るときはヘルメットを、運転者も同乗者も着用しましょう。

6月分国保医療費

老人医療対象者 1,148人 1人当り 14,575円 前年同月比 119.16%
一般被保険者 9,218人 1人当り 4,086円 前年同月比 121.60%

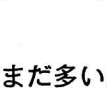
ハシゴ診療をつつしもう

総医療費 57,219,500円
（老人医療費 18,384,930円 32.13%）

おめでた（出生）

住所	氏名	保護者	続柄
上野	橋本　隆宏	金治	長男
道古	矢木　勝	勇	長男
上野	森田　亮	革新	2男
吉原	船田　圭朗	初朗	長男
入膳	田中　智之	一之	2男
中沢	金森　保雄	保	長男
小摺戸	小路　香織	勝良	長女
横山	西島由紀子	光二	2女
入膳	上田　仁	建夫	長男
入膳	村田　靖典	照人	長男
下飯野	新　向田朋貴	満雄	長男
入膳	上田　憲子	喜好	2女
新屋	高源　雅嗣	豪	2男
横山	野口　恵子	勝照	長女
芦崎	清田　一平	正嗣	長男
椚山新	大田　隆	正義	長男
入膳	田中　晃	信一	長男
椚山	長島　祐一	勝昭	長男
芦崎	井田　智美	明雄	長女
東	狐広田　えり	一英	長女
藤	原神子沢敏之	幸精	長男
笹	原島瀬小百合	義則	長女
椚	山米山　弥紀	隆司	長女
上野	千葉　琢哉	公成	長男
青木	松島　芳春	研二	長男
入膳	田中　康博	邦雄	長男
横山	西田千佳子	義嗣	長女
下飯野	石田　康博	俊照	長男
入膳	高矢　昭	重徳	長男
舟見	古畑　達也	優	長男
東狐	長田　佳美	龍治	2女
木根	竹田　智美	幸男	長女
横山	野口　行文	信行	長男
入膳	島　健一朗	敢	長男
青島	長川原秀夫	善夫	長男
入善	大野　直樹	博	長男

子供の将来に備え



を

まだまだ多い生活のムダ

おくやみ（死亡）

住所	氏名	年齢	世帯主
新屋	林　恵春	75	本人
一宿	柳沢　秀一	73	繁夫
入膳	上田　す、	84	ミツエ
今江	長原　ふて	79	貢
道古	矢木　ちよ	87	耕之助
道古	島先　ふて	95	明一
舟見	花房　栄吉	83	ヨシエ
吉原	金谷　輝吉	20	栄吉
椚山	鍋谷多喜男	45	辰良
青木	松島　芳春	0	武芳
下山	坪野　長作	74	本人
椚山	高橋権三郎	46	本人
道市	西村　ひろ	83	みどり
芦崎	井田　英松	76	本人

（七月三十一日受付分まで）

吉原　上島　達也　洋一　長男
上野　大西　淳　英治　長男

人権法律相談

（無料）

9月10日(水)

午後1時～4時
場所　入善町中央公民館
秘密は固く守ります

9月の保健行事

この保健行事予定表は個人通知にかわるものです。
該当欄は赤エンピツで印しておきましょう。

○印のついている行事に出られる方は母子手帳をご持参下さい

行事名	対象者	実施日	受付時間	対象地区	実施会場	備考
○6か月児相談	S50. 3. 1～50. 3.31までに生まれた者	8日	午後 1.30～2.30	全地区	健康センター	
○1歳児検診	S49. 9. 1～49. 9.30までに生まれた者	12日				医師による検診
○3か月児検診及び股関節脱臼検診	S50. 5.28～50. 6.24までに生まれた者	25日				
○2歳児歯牙検診	S48. 9. 1～48. 9.30までに生まれた者	26日				
○3歳児検診	S47. 5. 1～47. 5.31までに生まれた者	30日				お母さんと一緒に来て下さい 医師による検診
離乳食実習指導	8、9、10か月児	22日				
○母親教室及び妊婦検診	妊婦全員	19日				妊娠中の栄養、妊婦の生理と衛生 医師による検診
家族計画相談	希望者	13日	午前 9.00～11.30			
成人病検診	30歳～64歳	17日	午後 1.30～2.30			医師による検診
成人病相談	貧圧検査、健康体操 30歳～60歳	3日				
老人保健相談	65歳以上	2日				
○保健相談	乳幼児、妊婦、成人病者	1日		舟見、野中	舟見支所	
機能回復訓練	脳卒中片マヒ者	4日	午前 午後 10.00～3.00	全地区	保健婦ステーション	
		11日				
		18日				
老人検診	65歳以上の者	16日	午後 1.30～2.30	入善6区～12区住宅全部	老人いこいの家	医師による検診
		17日		入善13区～17区上田、神林、青島君島、田中 五十里		
		18日		小摺戸		
		19日		青木		

レントゲン検診日程

日	曜日	対象地区	実施会場	受付時間	成人病検診(血圧測定)
1日	月	全地区	入善町中央公民館	午後1.30 ～ 4.30	午後1.30 ～ 2.30
2日	火	青木	木ノ根公民館	午後1.30 ～ 2.30	午後1.30 ～ 2.30
			青木小学校	午後4.00 ～ 6.30	午後4.00 ～ 5.00
3日	水	野中	野中小学校	午後3.30 ～ 6.30	午後3.30 ～ 4.30
8日	月	舟見	愛場公民館	午後2.30 ～ 3.30	午後2.30 ～ 3.30
			舟見小学校	午後4.00 ～ 7.00	午後4.00 ～ 5.00
9日	火	横山	藤原公民館	午後1.30 ～ 2.30	午後1.30 ～ 2.30
			八幡公民館	午後3.00 ～ 4.00	午後3.00 ～ 4.00
10日	水		横山小学校	午後4.00 ～ 7.00	午後4.00 ～ 5.00
26日	金	全地区	入善町中央公民館	午後1.30 ～ 4.30	午後1.30 ～ 2.30

※ 26日の検診は未受検者の呼出し

9月の当番医

7日 川瀬医院TEL 72—0069
14日 永井医院TEL 72—1604
15日 脇坂医院TEL 78—1360
21日 野島医院TEL 78—1251
24日 西町医院TEL 72—0127
28日 田中医院TEL 72—0455

診療時間 午前9時～午後5時